

みずなら

棋	報
札幌	支
支部	会
本	部
盟	支
中	部
日	支
連	み
中	ず

札幌市民ホール将棋大会

平成23年4月10日(日曜)札幌市民ホール(札幌市北1西1)において、日本将棋連盟・札幌中央支部主催による札幌市民ホール将棋大会が行われた。

同大会は3月に続き2回目。支部の例会を兼ねているが、支部会員以外の参加者が多く、60名以上の来訪があり、熱い将棋を闘わせた。

さきがけ戦トーナメント

優勝・武沢涼介 準優勝・田村瑛斗



さきがけ戦優勝の武沢さん(写真右)

市民ホール将棋大会は、日将連札幌中央支部が将棋文化普及や将棋愛好家の親睦・交流を目的に開催している。朝から来訪される方も、午後から来訪される方にも、なるべく多くの方々に楽しんで頂けるように複数の棋戦を用意している。また、高校生以



会報『みずなら』の編集長のブログ



午前トーナメント優勝佐藤樹(たつき)さん

下の参加費は無料だ。

この日は第二回大会。

まず、先着16名による

「さきがけ戦トーナメント」

では、遠路・砂川から参戦の武沢涼介さんが優勝。

(武沢さんは第一回大会で

も準優勝している)。さきがけ戦の準優勝は、本戦ト

ーナメント

午後開始トーナメント

優勝・小畑彰政 準優勝・浅井隆宏

午前開始トーナメント

優勝・佐藤樹 準優勝・矢田守宏

ナメント1敗者全員による準優勝者決定トーナメントで争われ、田村瑛斗(あきと)さんが勝ち上がった。

このほか、午前開始のトーナメントでは佐藤樹(たつき)さんが優勝。準優勝は矢田守宏(やだもりひろ)さん。矢田さんは栄町中学校の将棋部所属で、この日は将棋部の仲間十数名とともに参加した。

午後開始のトーナメントには、だれが優勝しても不思議のない強豪多数が参加。ハイレベルな争いとなった。

優勝は小畑彰政さん、準優勝・浅井隆宏さん。

各棋戦の優勝者・準優勝者には、支部長から棋書・扇子・将棋グッズなどが手渡された。

この他、「みずならリーグ」や懸賞詰将棋正解者の抽選などが行われた。(二面参照)

午後トーナメント優勝小畑彰政さん(写真左)



札幌市民ホール将棋大会

懸賞詰将棋 みずならリーグ

【結果発表】

本会報・第27号(3月23日付)で出題した懸賞詰将棋の、正解者が7名いた。

抽選の結果左の方に景品の棋書が進呈された。

加藤正憲さん

懸賞詰将棋

江戸期の詰め物を御紹介しよう。ななめに並んだ配置がおしゃれで、有名な作品だが、作者は不明だといふ。

- 詰手順は、
 1三飛成、2二桂、2二玉、2二龍、2同金、3一飛、1二玉、1一飛成、2三玉、2二龍、3四玉、3三龍、4五玉、3五龍、5六玉、5五龍、6七玉、5八角、7八玉、6九金、8七玉、8五龍、8八金、同銀成、9九香、同成銀、5三角成、9八玉、7六角まで三十一手詰。

さて、ところで、A図 8五龍に対して 9七玉としないで、8六桂合と受けたら、これを懸賞問題として出題する。

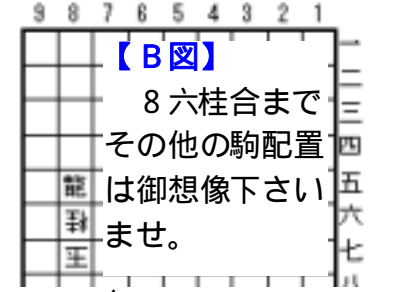
B図から詰手順を適当なメモ紙に書いて、お名前・連絡先も明記して、5月22日(日)の市民ホール将棋大会会場で、10時〜14時の間に、係にお渡し下さい。



【A図】
23手目 8五龍まで。その他の駒配置は省略



【B図】
8六桂合までその他の駒配置は御想像下さいませ。



正解者の中から抽選で景品進呈



いるが、遅れて来てトーナメントに参加できなかった人や武運つ

たなく早々に敗退してしまつた人なども、もっと楽しめるように設けられている。駒落ちハンデ戦なので上位者に対等に挑戦できるし、



い。今回は3カ月(三月〜五月)かけて行つ。もちろん全員との対戦は義

普段対戦のない相手とも楽しめる。例えば初段と4級なら飛車落ちで対局することとなっている。数十人の総当たりなのでとうてい一日では終了しない。今回

務ではないので、だれでも何局でも出来る対局を消化することで構わない。



1勝すれば5点、負けても3点の加点方式で得点を競い、入賞者を表彰する。すでに3月13日と4月10日の2回で20局以上こなしたツワモノも。次の5月22日(日)で優勝者が決まる見込みだ。



【編集後記】市民ホール将棋大会、やっと2回。おかげさまで盛況です。もっと楽しめそうです。どうぞいらして下さい。(編集長・山下弘人)